

「地域相談支援フォーラム」

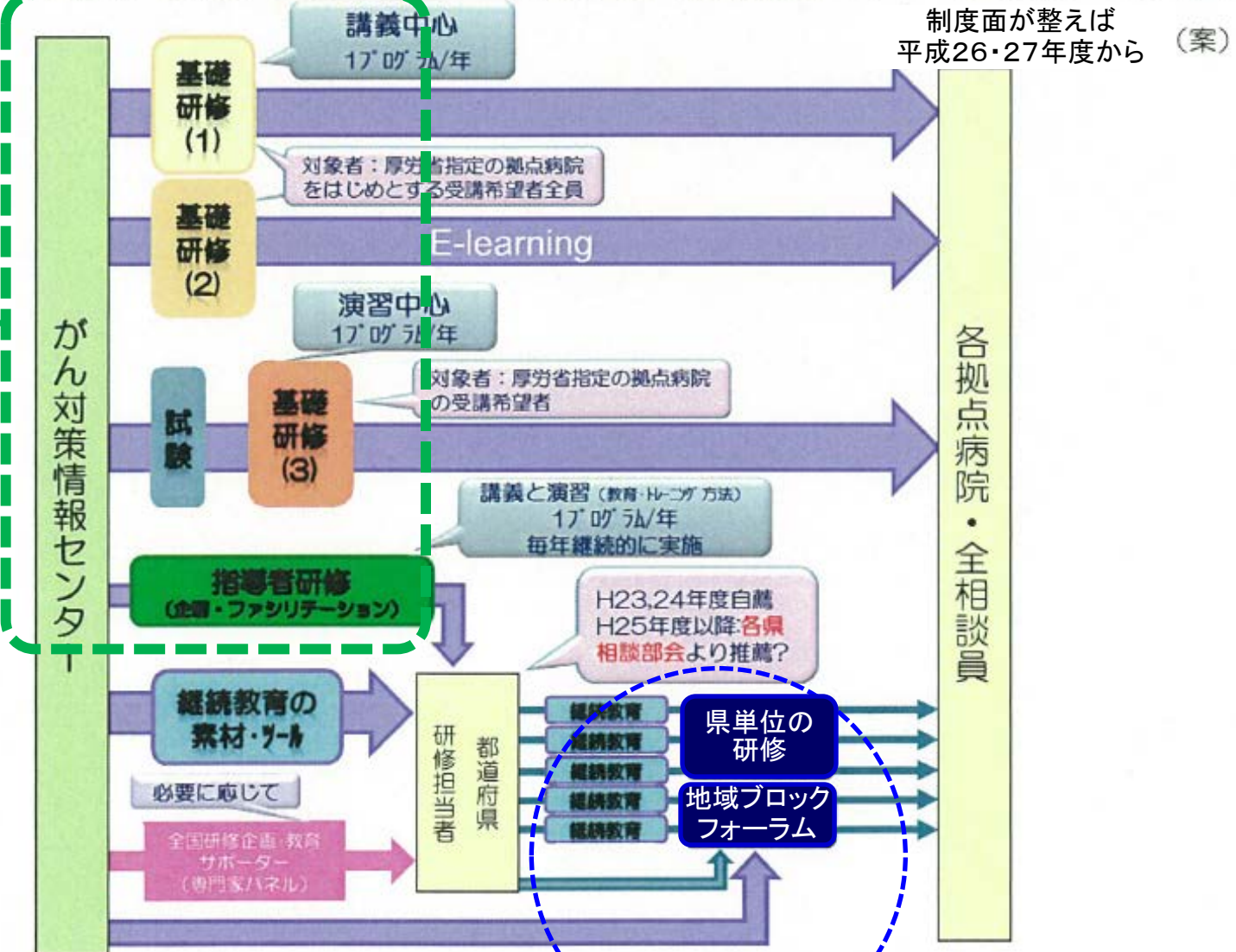
次回以降の開催について

(2013年7月版)

相談員研修体系の課題と今後の方向性

相談支援センター相談員研修会 実施の流れ

現状→

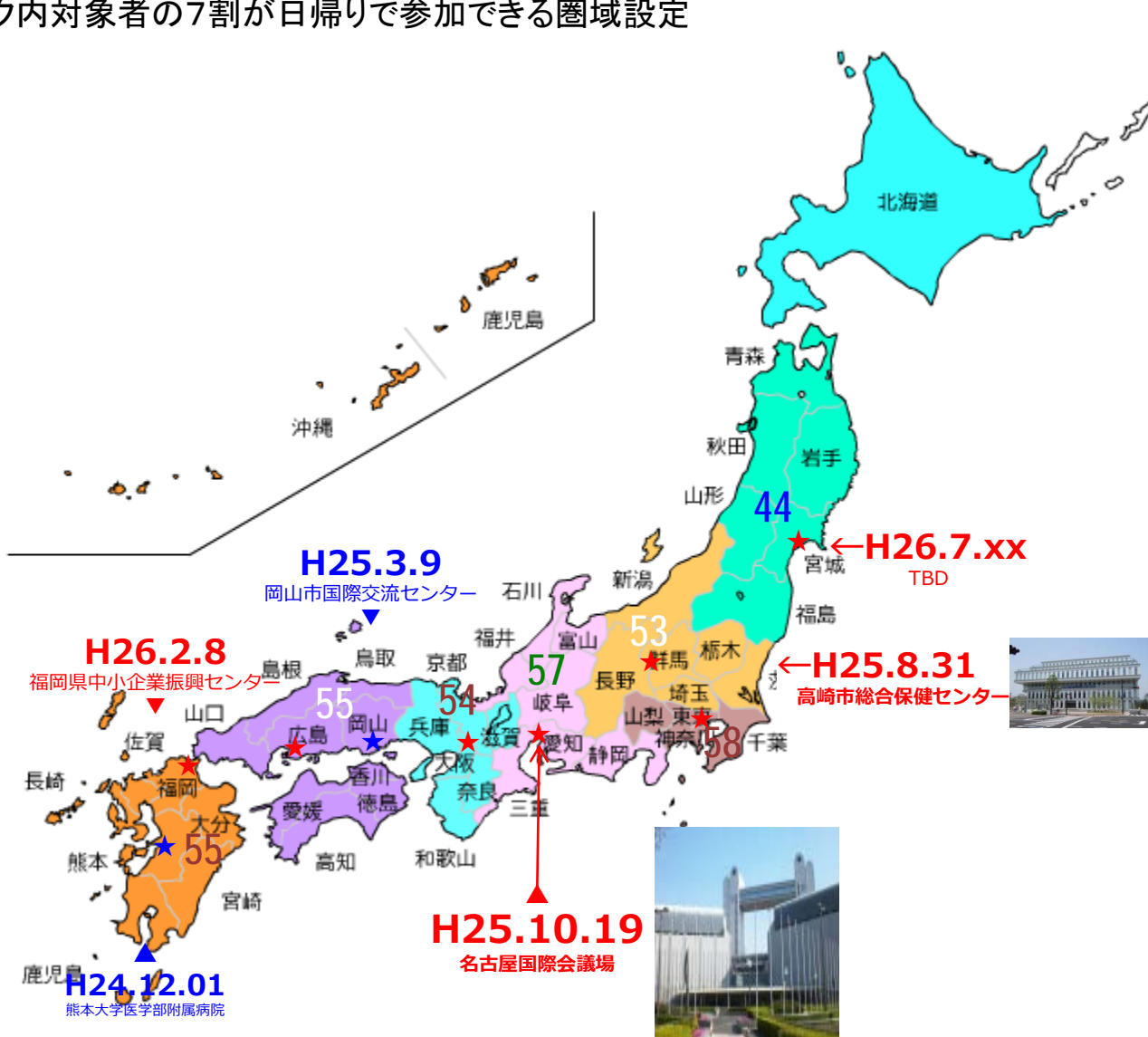


継続教育のプログラムは
地域毎の施設構成やニーズに合わせて検討・実施

地域相談支援フォーラム： 第1回目開催時の暫定的なブロック分け

- 第一周は24年度下期から2年半以内で展開することを念頭に全国拠点を暫定的に8ブロック*に編成
- ブロック単位とし規模を担保することで類似性(役割・規模・体質等)がある他施設の相談支援チームとの交流を担保
- 可能な限りブロック内対象者の7割が日帰りで参加できる圏域設定

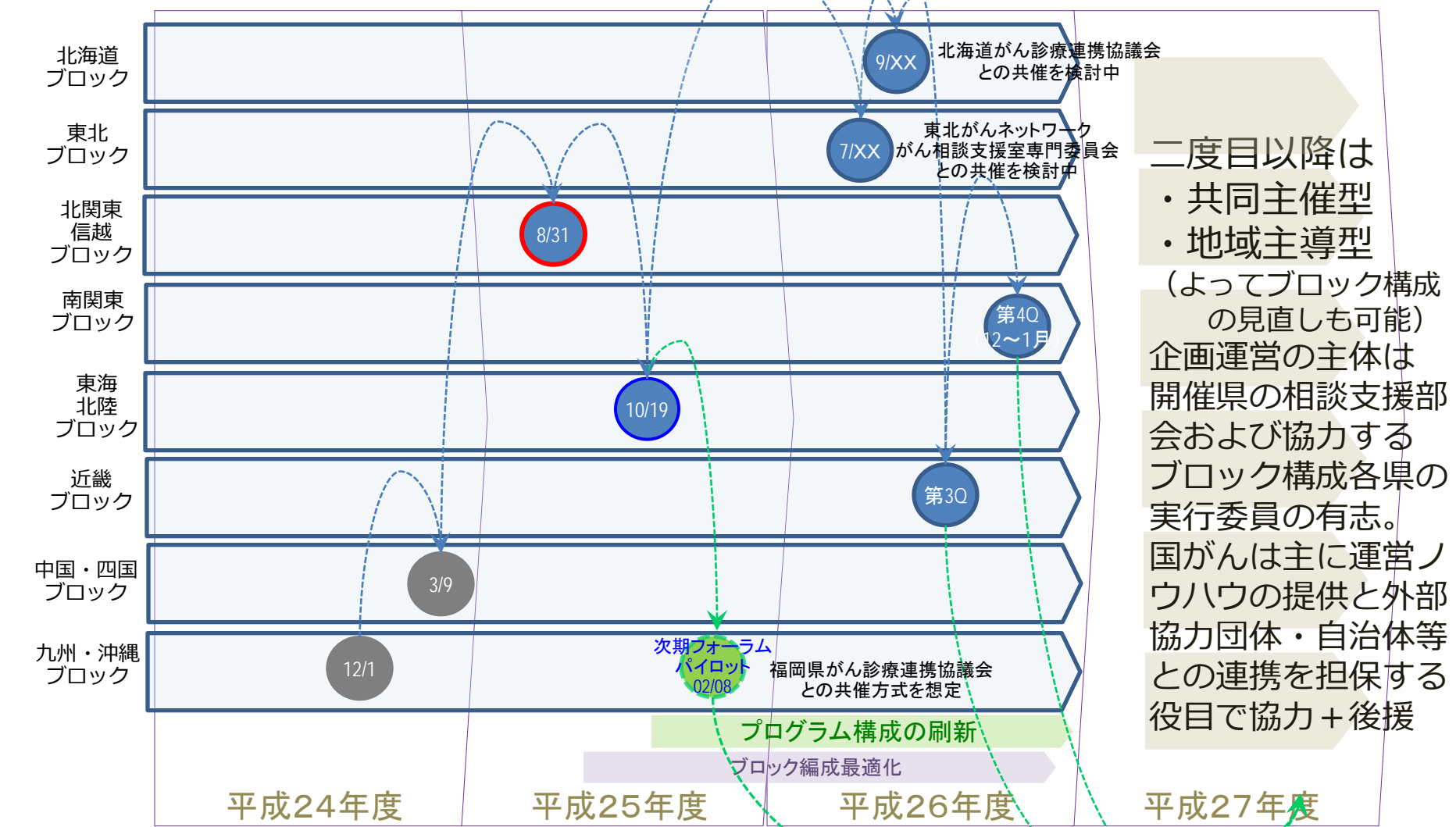
滋賀県	近畿
京都府	
大阪府	
兵庫県	
奈良県	
和歌山県	
鳥取県	
島根県	
岡山県	
広島県	
山口県	
徳島県	
香川県	
愛媛県	
高知県	
福岡県	九州・沖縄
佐賀県	
長崎県	
熊本県	
大分県	
宮崎県	
鹿児島県	
沖縄県	



北海道	北海道
青森県	東北
岩手県	
宮城県	
秋田県	
山形県	
福島県	北関東信越
茨城県	
栃木県	
群馬県	
埼玉県	
新潟県	
長野県	
千葉県	
東京都	
神奈川県	
山梨県	
富山県	東海北陸
石川県	
岐阜県	
静岡県	
愛知県	
三重県	
福井県	

地域相談支援フォーラム： 地域別の開催サイクルについて(予定)

約2年半かけて各ブロックでの第一回目開催を完了し、平成27年度からはプログラム構成とブロック編成、事務局編成を刷新した形で第二期の地域相談支援フォーラムを年3-4回の頻度で開催することを予定しています。ブロック別開催の順番は開催地毎の事情によって、前後する可能性もあります。



第二期以降のフォーラム運営においては、事務局の編成やプログラム編成においても、各ブロックの実行委員や関連各県のがん診療連携協議会の面々がより大きな役割を担う方向で地域毎の機能分散を図っていくことを想定しておりますが、拠点病院ネットワークの新たな姿*次第で、運営スタイルを更に大きく最適化する可能性もあります。

*: 進行中の「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」の最終的な答申と、これに基づくがん診療連携拠点病院ネットワークの再編や新指定要件等によるところが大きい。

地域相談支援フォーラム： 発展パス＋役割分担の考え方(案)

地域毎の相談支援センターの構成や、専門部会等の成熟度等はブロック毎に大きくなるため、地域ブロック毎に優先的に取り扱うテーマ群は画一的なものではなく、回数を重ねる度にそのプログラム編成は増々地域色が強くでることとなるが、構成各県の県独自研修のプログラムとの相互補完を図りながらその企画を最適化していく予定。

